

第 8 次犬山市高齢者福祉計画・第 7 次犬山市介護保険事業計画の推進について

H30.3 策定「第 8 次犬山市高齢者福祉計画・第 7 次犬山市介護保険事業計画」

→基本理念「いきいき あんしん 健康長寿のまち 犬山」

高齢期を健やかに「いきいき」と、「あんしん」を感じられ、豊かさも備えた「健康長寿」を目指す。

この計画を推進するために、

- ① 安心できる暮らしの継続と生きがいづくり
- ② 介護予防の推進と地域における包括的・継続的なケアマネジメント
- ③ 持続可能な社会保障制度として、介護保険制度の適正で円滑な運営に取り組む。

とりわけ重要なのは、『高齢者の方が要介護状態になるのを予防』すること。

犬山市においては、高齢者の方が健やかであるように、早期からの【生活習慣病予防】【介護予防】を進められるよう、気軽に健康づくり、介護予防に取り組めるような環境づくりを進める。

●犬山市の取組み

- ①生涯学習事業の推進 ②さくら工房の活用 ③生涯スポーツの促進
- ④高齢者を対象にした保健施策

その他、認知症高齢者支援策として

・認知症サポーター養成講座の実施

各地区で実施されている高齢者教室の利用者等を対象に認知症サポーター養成講座を実施し、認知症とその家族を見守るための体制づくりを構築。

高齢者だけでなく、子どもにも認知症についての正しい知識を持ち、見守りを支援してもらうために、市内小中学校校長会に各学校での講座の開催を依頼。

H29 年度 楽田小学校 123 名、名古屋経済大学 68 名

H30 年度 栗栖小学校 9 名、城東中学校（予定）

・脳のトレーニング教室

音読や、計算などの学習療法を通じ認知症予防を実施。

・デイサービス等でドリル（うんこドリル）を取り入れてもらい、笑いながら認知症予防を実施できるような体制づくりの検討。

上記取組みの他、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるためには、医療と介護の連携が必要不可欠。

市内医療機関や訪問看護等の関係者、介護サービス事業所や介護支援専門員等の介護関係者の関係づくりのための研修会・情報交換会を実施。

- ①医師・歯科医師・薬剤師・介護サービス事業者等の協力を得て、研修・情報交換等を行う「あんしんネットワークの会（多職種連携会議）」の実施。
- ②医療と介護の代表者が医療介護連携の推進のための課題や今後の方向性等を検討する「犬山市在宅医療介護連携推進協議会」の開催。
- ③尾北医師会に在宅医療・介護連携推進事業を委託し、2市2町（犬山市、江南市、大口町、扶桑町）における連携を図る。

他の計画との連携

○第2次みんなで進めるいぬやま健康プラン21（平成26年度～35年度）：健康推進課
基本理念：市民の健康づくり → 健康寿命の延伸

○犬山市データヘルス計画（平成29年度～30年度）：保険年金課
国民健康保険加入者に対するデータ分析に基づく健康事業計画

①市民のQOL（生活の質）の向上及び医療費、介護給付費の適正化を目的とした糖尿病を中心とした生活習慣病重症化予防対策

- ・糖尿病性腎症重症化予防事業（平成29年度開始）
- ・糖尿病重症化予防眼科検診（平成29年度開始）

②健康的な生活習慣の実践

- ・ウォーキングアプリの導入（平成29年度開始）
- ・健康いぬやま応援メニュー認定事業（平成29年度開始）

③ロコモティブシンドローム対策

運動器症候群（運動器が加齢の影響により衰えている、または衰え始めている状態）

- ・木曜サロン、筋力トレーニング教室、体力チェック など